

[018]九州大学産学連携センター一年報 : 18

<https://doi.org/10.15017/26849>

出版情報 : 九州大学産学連携センター一年報. 18, 2013-02-22. 九州大学産学連携センター
バージョン :
権利関係 :



1. KASTEC の概要

1.1 KASTEC の目標

九州大学産学連携センター（KASTEC）は、その前身である先端科学技術共同研究センターが平成6年度に設置されて以来、21世紀の我が国の社会とりわけ産業・経済を支えるテクノロジー・イノベーションを九州大学より世界に向かって発信すべく、また地域に新たな産業基盤を創成すべく、九州大学と社会とを結ぶ絆として種々の活動を行いつつ今日に至ります。

KASTEC ではこれまで、

- ・産学連携に関する実務ならびに研究・教育を推進する専任教員から成る“リエゾン部門”
- ・4つの先端学術領域で産学官連携大型プロジェクト研究を推進する“プロジェクト部門”
- ・技術の人間化というコンセプトに立ちヒューマンインタフェースのあくなき進化とその社会への還元を志向する“デザイン総合部門”
- ・上記の三部門の活動を支援する外部有識者からなる“客員部門”

の四部門による有機的連携のもと、九州大学の社会貢献活動を活発に展開しています。さらに産学連携で得られた基礎研究成果の実用化研究を推進するため、平成20年度に産学連携センターの五部門目として「連携部門」を新設するに至りました。また全学的には、学術研究推進支援機構（URA）の重要な担い手として、学外からの技術・経営相談や技術移転機関（TLO）への対応を行うなど、九州大学のリエゾンシステムの窓口として機能しています。さらにリエゾン部門及びデザイン総合部門は、URA を構成している知的財産本部の一員としても活動の場を広げています。

このように時代の要請に応じ歩を進めてきた KASTEC ではありますが、その根幹には不易のものとして「新産業の創成と豊かな地域社会の実現」を基本方針とし、“3つの目標、9つの方策”を掲げ、研究と社会貢献活動に邁進しています。

A 産学官技術移転システムの構築とそれに関する新しい学問領域の創造

- a 1 研究シーズと産業ニーズに関する調査・分析及び技術移転コーディネート
- a 2 研究成果・研究支援などの情報の整備と発信
- a 3 実効的かつ総合的な技術移転システム等の構築に関する研究と人材育成

B 産学官交流による地域社会等への貢献

- b 1 民間企業等との共同研究・受託研究等の推進
- b 2 産学官交流の場の提供と技術シーズの発掘
- b 3 産業ニーズの発掘と産学官連携共同研究プロジェクトのコーディネートの推進

C 先端的プロジェクト研究による高度な産業技術シーズの創出

- c 1 産学官の研究者等からなる研究チームの結成
- c 2 先端研究領域における国内外博士研究員の招聘
- c 3 横断型プロジェクトの企画と推進

リエゾン部門は上記の「A 産学官技術移転システムの構築とそれに関する新しい学問領域の創造」、デザイン総合部門はデザイン領域における「A 産学官技術移転システムの構築とそれに関する新しい学問領域の創造」及び「C 先端的项目研究による高度な産業技術シーズの創出」、そしてプロジェクト部門は「C 先端的项目研究による高度な産業技術シーズの創出」を目標とし、三部門で協同して「B 産学官交流による地域社会等への貢献」という目標を掲げ、事業に取り組んでいます。

この年報は、平成23年度の KASTE C の活動をまとめたもので、上記 A～C の目標の基で行った事業報告等を 2 章～7 章に、これらを受けての総括及び KASTE C の今後の活動の方針を 8 章に示しました。

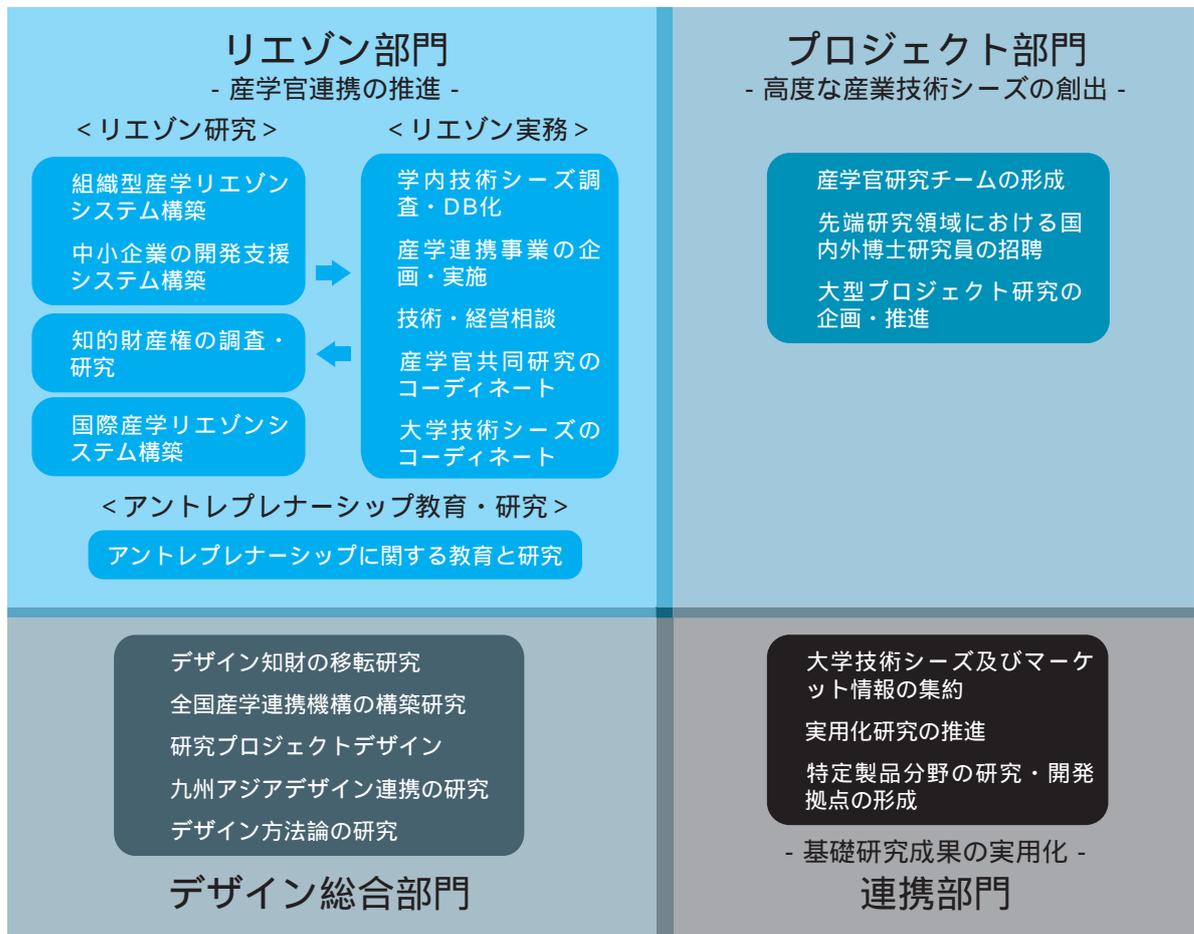
1.2 運営方法と組織

KASTECC の運営は、「九州大学産学連携センター規則」（附録1）に則って行われています。すなわち、全学から選出されたセンター委員（平成23年度の委員名を附録2に示します）によるセンター委員会が最高の意思決定機関となり、センターの管理運営や自己点検評価、教員人事、共同研究等業務の詳細等について審議を行います。

KASTECC は全学的にみて、平成23年3月までは、ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター及び関係各部署の連携により構成される九州大学産学連携推進機構（Business Liaison Office；BLO）の中核的センターとして位置付けられており、リエゾン部門及びデザイン総合部門は、BLO 内に設置されている知的財産本部の重要な一翼を担ってきました。平成23年4月からは、学術研究の推進支援に関わる研究戦略企画室、知的財産本部、有体物管理センター、学術研究推進部で構成される学術研究推進支援機構（University Research Administration Office；URA）への統合に伴い、知的財産本部で行う実務業務と KASTECC の役割が明確に切り分けられ、それぞれの活動に邁進しています。

以下に、KASTECC の組織図とセンター委員会の役割を記載します。また、附録3に KASTECC 職員名を示します。

■ KASTEC の組織図



■ センター委員会の役割

センター委員会では、次の各号に掲げる事項が審議されます。

- (1) センターの教員人事に関すること。
- (2) 教員の研究業務に係る重要事項に関すること。
- (3) 共同利用に係る業務の重要事項に関すること。
- (4) 研究員等に関すること。
- (5) 研究生等に関すること。
- (6) センター内の諸規則等の制定改廃に関すること。
- (7) センターの自己点検・評価に関すること。
- (8) その他センターの管理運営に関すること。

今年度のセンター委員会の議事を附録4に示しました。

1.3 活動経過

KASTE C に関連した平成23年度の主な行事イベント等を時系列的に示します。

平成23年

4月1日	客員教授着任
6月16日	産学連携センター委員会
6月16日	第9回産学連携学会（～17日）
6月17日	センター利用者説明会（筑紫）
7月7日	第150回 KASTE C セミナー
7月28日	産学連携センター委員会
8月2日	第151回 KASTE C セミナー
9月1日	第24回国立大学法人共同研究センター専任教員会議（～2日）
9月13日	産学連携センター委員会
10月1日	年報第17号発行
11月1日	九州・沖縄地区国立大学法人共同研究センター長会議
11月24日	第23回国立大学法人共同研究センター長等会議（～25日）
12月2日	第152回 KASTE C セミナー
12月12日	第153回 KASTE C セミナー

平成24年

1月12日	センター利用者説明会（大橋）
1月13日	第154回 KASTE C セミナー
1月18日	第155回 KASTE C セミナー
2月3日	第156回 KASTE C セミナー
2月13日	第157回 KASTE C セミナー
2月28日	産学連携センター委員会
2月29日	第158回 KASTE C セミナー
3月14日	国立大学法人共同研究センター西日本ブロック専任教員会議（～15日）